

地域貢献に関する情報開示

平成 17 年 5 月

株式会社 青森銀行

目次

(頁)

地域貢献について	・・・・・・・・ 1
I. 地域貢献に関する考え方	
II. 地域貢献に関する取組み状況	・・・・・・・・ 2
1. 地域への信用供与の状況	
(1) 貸出業務全般の状況	
① 総貸出金残高	
② 県内向け貸出金残高シェア	
③ 県内金融機関別貸出金残高シェア	
④ 業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	・・・・・・・・ 3
⑤ 県内向け業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	
(2) 中小企業向け貸出業務の状況	
① 中小企業向け貸出金残高、貸出先数	
② 中小企業向け貸出金残高シェア	
③ 県内中小企業向け貸出金残高、貸出先数	・・・・・・・・ 4
④ 県内向け貸出金残高に占める県内中小企業向け貸出金残高シェア	
⑤ 中小企業向け融資商品の提供内容	
⑥ 青森県信用保証協会保証付貸出金残高	・・・・・・・・ 5
⑦ 青森県信用保証協会保証付貸出金残高全体に占める当行シェア	
⑧ 地方公共団体の制度融資への取組状況	
(3) 個人向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 6
① 個人ローン残高、件数	
② 総貸出金残高に占める個人ローン残高シェア	
③ うち住宅関連融資残高、件数	
④ うち消費者ローン残高、件数	
⑤ 県内の個人ローン残高、件数	・・・・・・・・ 7
⑥ 県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高シェア	
⑦ うち住宅関連融資残高、件数	
⑧ うち消費者ローン残高、件数	
⑨ 個人向けローン商品の提供内容	
2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況	・・・・・・・・ 8
(1) 顧客接点の状況	
店舗等チャネルの状況	
〈店舗の状況〉	
① 店舗数、シェア	
② 店舗設置市町村数	

〈A T Mの状況〉	・ ・ ・ ・ ・ 9
① A T M設置数、シェア	
② コンビニA T M「E-net（イーネット）」	
③ 休日の対応状況	
④ A T M提携の状況	
〈バリアフリーへの取組み〉	
〈ダイレクトチャネルの展開〉	・ ・ ・ ・ ・ 1 0
(2) 預金業務等の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 1
① 総預金残高	
② 個人預金残高、シェア	
③ 県内の預金残高シェア	
④ 県内の個人預金残高、シェア	
⑤ 県内金融機関別預金残高シェア	
⑥ 預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 2
⑦ うち公共債	
⑧ うち投資信託	
⑨ うち個人年金・年金払積立傷害保険	
⑩ 県内の預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
⑪ うち公共債	
⑫ うち投資信託	
⑬ うち個人年金・年金払積立傷害保険	
⑭ 地域顧客への利便性提供に資する取組みの状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
(3) その他	
① 子会社等を通じた利便性提供の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
3. 地域経済活性化への取組み状況	
(1) 地元企業に対する経営サポートの状況	
① 地元企業の経営相談等への取組み状況	
② 地元企業の再生への取組み状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
(2) 企業の育成への取組み	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
① 企業育成への取組み状況	
(3) 地方公共団体の事業との関係	
① 地方公共団体事業との関係	
4. その他	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
(1) 地域への各種支援活動の状況	
① ボランティア活動等の状況	

地域貢献について

当行は、平成15年3月に金融庁より公表された「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」で示された「地域貢献に関する情報開示の充実」を図ってまいります。

地域貢献に関する当行の基本的な考え方を示し、その取組み状況について、「地域への信用供与の状況」「地域のお客さまへの利便性提供の状況」「地域経済活性化への取組み状況」「その他 地域への支援活動」に区分し、具体的に開示いたします。

今後とも、地域の皆さまの声に耳を傾けながらさまざまな工夫を重ね、より充実した情報開示に努めてまいります。

I. 地域貢献に関する考え方

当行は、青森県を主要な営業基盤とする地域金融機関として、「地域のために」「お客さまとともに」「人を大切に」を企業理念とし、地域社会の繁栄と地域経済の発展に寄与することが重要なテーマであると認識しています。

健全性を確保しつつ、本業である銀行業務を通じて、地域の皆さまへの円滑な資金供給と金融サービスの提供という役割のほか、中小企業の経営支援など地域経済活性化に向けた取組みを適切に果たしていくことが、地域貢献のあり方だと考えています。

また、地域社会に根ざした良き企業市民として社会的責任を果たすことも重要であると考え、学術・文化・スポーツ振興支援や社会福祉、環境保護活動などさまざまな分野で地域社会に貢献してまいります。

※「地域」とは・・・当行が主要な営業基盤としている「青森県」を指しています。

なお、預貸金等の「県内」の記載数値は青森県内に店舗を構える営業店の合計値です。

例. 県内向け貸出金残高は、青森県内103カ店の貸出金残高の合計です。

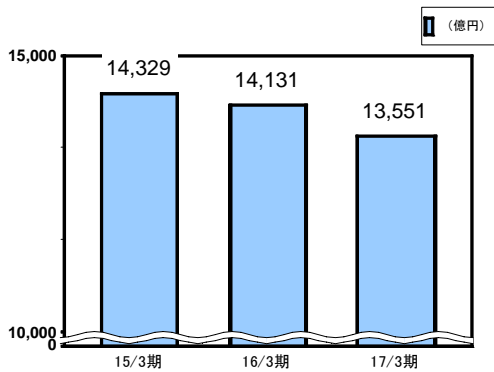
Ⅱ. 地域貢献に関する取組み状況

※ 記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。また、構成比率、増減率その他の比率は、表示している数値未満を切り捨てています。

1. 地域への信用供与の状況

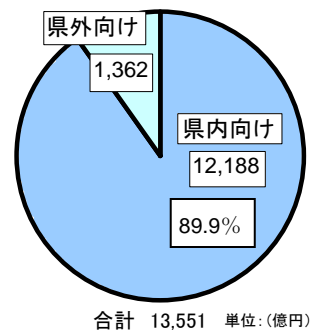
(1) 貸出業務全般の状況

① 総貸出金残高



平成 17 年 3 月期の総貸出金は、法人および公共向け貸出金の減少により、前期比 4.1%減少し 1 兆 3,551 億円となりました。

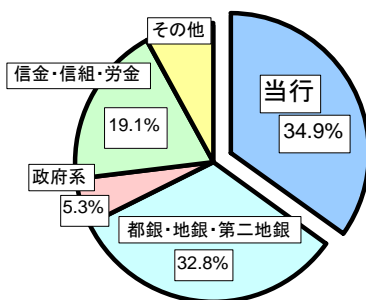
② 県内向け貸出金残高シェア(17/3期)



地元青森県内への貸出金は 1 兆 2,188 億円であり、貸出金全体の 89.9%を占めています。

③ 県内金融機関別貸出金残高シェア(17/3期)

(郵便局を除く)



県内における当行貸出金シェアは 34.9%とトップです。

④業種別貸出金残高、貸出先数
および各シェア

業種別貸出金残高	17/3期		17/3期	
	残高(百万円)	先数(件)	残高シェア(%)	先数シェア(%)
製造業	109,593	1,119	8.0	0.9
農業	4,329	1,029	0.3	0.8
林業	556	40	0.0	0.0
漁業	7,532	173	0.5	0.1
鉱業	1,690	5	0.1	0.0
建設業	78,988	2,769	5.8	2.2
電気・ガス・熱供給業	15,749	42	1.1	0.0
運輸・通信業	48,718	480	3.5	0.3
卸売業	100,757	935	7.4	0.7
小売業	79,463	2,393	5.8	1.9
金融・保険業	50,955	246	3.7	0.2
不動産業	79,130	927	5.8	0.7
飲食業	10,540	1,027	0.7	0.8
サービス業	178,254	3,564	13.1	2.9
地方公共団体	285,246	65	21.0	0.0
個人	303,653	106,698	22.4	87.8
合計	1,355,152	121,512	100.0	100.0

貸出金全体でみる業種別残高シェアは、個人 22.4%、地公体 21.0% と全体の 4 割強を占め、次いで サービス業 13.1%、製造業 8.0%、卸売業 7.4%と続きます。貸出先数シェアでは、個人が 87.8%と全体の約 9 割を占めています。

⑤県内向け業種別貸出金残高、貸出先数
および各シェア

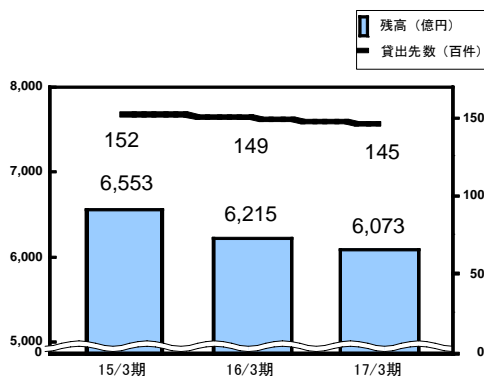
業種別貸出金残高	17/3期		17/3期	
	残高(百万円)	先数(件)	残高シェア(%)	先数シェア(%)
製造業	81,490	1,001	6.6	0.8
農業	4,305	1,026	0.3	0.8
林業	556	39	0.0	0.0
漁業	7,528	171	0.6	0.1
鉱業	1,690	5	0.1	0.0
建設業	73,133	2,653	6.0	2.2
電気・ガス・熱供給業	15,248	39	1.2	0.0
運輸・通信業	43,545	459	3.5	0.3
卸売業	84,479	853	6.9	0.7
小売業	74,832	2,285	6.1	1.9
金融・保険業	27,653	208	2.2	0.1
不動産業	70,186	827	5.7	0.7
飲食業	10,004	962	0.8	0.8
サービス業	153,542	3,284	12.5	2.8
地方公共団体	284,146	61	23.3	0.0
個人	286,530	102,509	23.5	88.0
合計	1,218,866	116,382	100.0	100.0

県内向け貸出金残高に占める業種別残高シェアは、個人 23.5%、地公体 23.3%、サービス業 12.5%など貸出金全体でみた場合と大きな変化はありません。貸出先数シェアでも同様です。

(2) 中小企業向け貸出業務の状況

※中小企業とは・・・資本金 3 億円（卸売業は 1 億円、小売業、飲食店、各種サービス（除く飲食店）は 50 百万円）以下、または常用従業員 300 人（卸売業、各種サービス（除く飲食店）は 100 人、小売業、飲食店は 50 人）以下の企業規模の法人および個人事業主のことです。

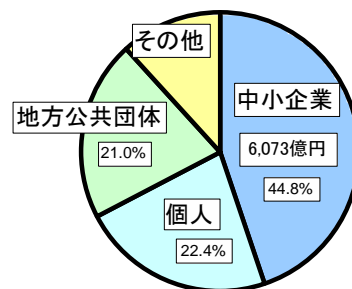
① 中小企業向け貸出金残高、貸出先数



中小企業向け貸出金については積極方針ですが、景気低迷等により資金需要は低迷しています。

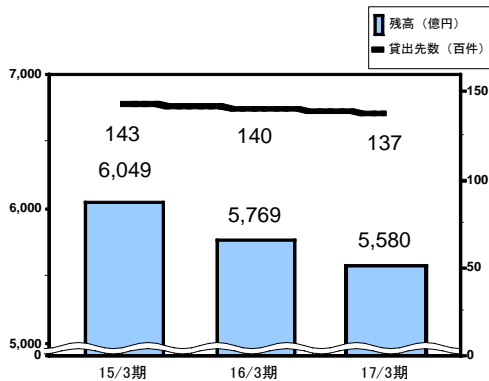
平成 17 年 3 月期の残高は前期比 2.2% 減少し 6,073 億円となりました。

② 中小企業向け貸出金残高シェア(17/3期)



中小企業向け貸出金は、貸出金全体の 44.8%を占めています。

③県内中小企業向け貸出金残高、貸出先数



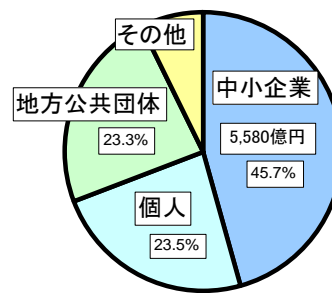
県内経済は全国に比べ景気回復の足取りが鈍く、県内中小企業の資金需要は低迷しています。

平成17年3月期の県内中小企業向け貸出金残高は前期比3.2%減少し5,580億円となりました。

④県内向け貸出金残高に占める

県内中小企業向け貸出金残高シェア

(17/3期)



県内中小企業向け貸出金は、県内向け貸出金の45.7%を占めています。

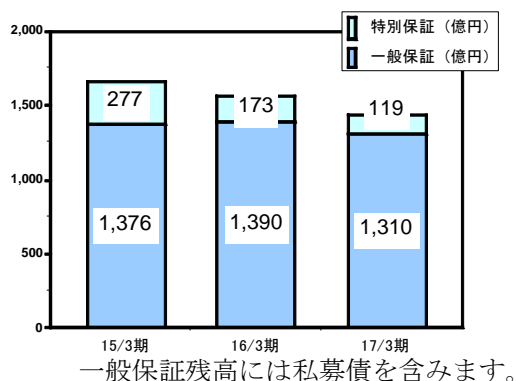
⑤中小企業向け融資商品の提供内容

お客さまの資金調達ニーズの多様化に合わせて各種商品をご用意しています。これからも、お客さまの声にお応えするために、商品ラインナップの充実に務めてまいります。

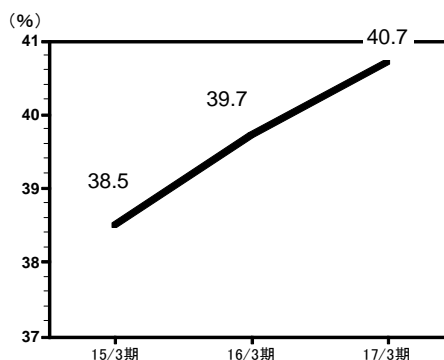
中小企業向け融資商品内容は次のとおりです。

融資制度名	内 容	ご融資金額 (一企業につき)	ご融資期間 (据置期間)
大型ご発展ローン	ご返済期間が長期となっておりますので、余裕をもった資金計画を立てることができます。	2,000万円以上2億円以内 (10万円単位)	運転資金…15年以内 設備資金…20年以内
クイックローン	当座貸越型ですので、ご契約時に設定したご利用限度額の範囲内で、必要なときは何度でもお借り入れできます。	100万円以上2億円以内 (10万円単位)	運転・設備資金いずれも 可 1年ごとに契約を更新
ビジネスカードローン	信用保証協会の保証を受けられた個人事業主および法人にご利用いただけます。カードローン型ですので、ご契約時に設定した限度額の範囲内で必要な時に何度でもお借り入れできます。	無担保…100万円以上500万円以内 有担保…100万円以上1,000万円以内(10万円単位)	運転・設備資金いずれも 可 2年ごとに契約を更新
新型バックアップローン	信用保証協会の保証を受けられた個人事業主および法人にご利用いただけます。最高3,000万円まで無担保・第三者保証人不要の条件で、お申込から原則3営業日以内にご回答いたします。	最高3,000万円	運転資金…5年以内 設備資金…7年以内
スピードローン	業歴2年以上の法人および個人事業主の方で、オリックス(株)の保証を受けられるお客さまにご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、最短2営業日以内にご回答いたします。	100万円以上3,000万円以内 (10万円単位)	3年以内
デュオ	業歴2年以上の法人および個人事業主にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援いたします。	100万円以上2,000万円以内 (10万円単位)	運転資金…5年以内

⑥青森県信用保証協会保証付貸出金残高
(信保集計ベース)



⑦青森県信用保証協会保証付貸出金残高
全体に占める当行シェア



信用保証協会とは、中小企業の皆さまに対する金融の円滑化を図ることを目的として設立された公的機関です。当行では、信用保証協会とタイアップした円滑な事業資金融資をご用意しています。信用保証協会付貸出には一般保証のほか特別保証がありますが、特別保証とは、中小企業の安定した資金調達のために、政府が創設した「中小企業金融安定化特別保証融資制度」のことで、平成10年10月から平成13年3月まで実施されました。特別措置として、一般保証とは別枠で行われた制度のため、通常の一般保証とは区別して管理されています。現在は、制度の取扱いが終了しているため、新規の取扱いがなく、返済により残高は減少しています。当行は、中小企業の円滑な資金調達に資するため、積極的に信用保証協会の保証付融資を活用しており、特別保証制度終了後も一般保証残高は堅調に推移しています。

⑧地方公共団体の制度融資への取組状況

当行は、県や市町村の制度融資を取扱いし、地元の中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給に努めています。

〈 主な地方公共団体制度融資 〉

◎青森県中小企業長期経営安定資金

青森県内の中小企業者を対象にし、企業経営の安定に必要な長期資金の融資を行うことにより、経営基盤の安定強化を図ることを目的としています。

平成17年3月末 取扱残高 751件 91億円

◎青森県中小企業セーフティネット資金

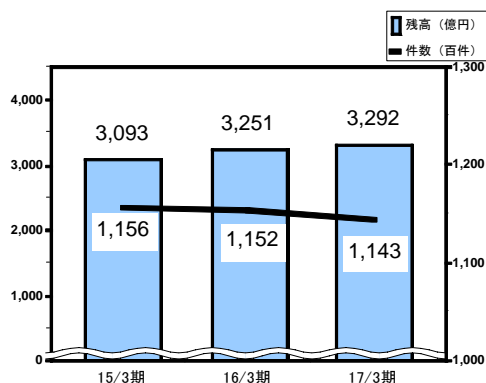
企業倒産等により影響を受ける県内中小企業者の連鎖倒産を防止するとともに、長期的な景気低迷により資金繰りが悪化している県内中小企業者の経営の安定を図ることを目的としています。

平成17年3月末 取扱残高 1,363件 131億円

上記のほか、青森県地場産業振興資金、青森県創業支援資金、市町村特別保証制度としての小口資金・近代化資金などを取扱っています。

(3) 個人向け貸出業務の状況

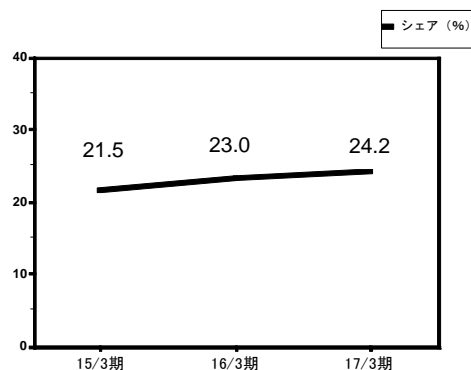
① 個人ローン残高、件数



平成 17 年 3 月期の個人ローンは、全体の件数は前期比 0.7%減少し 1,143 百件となりましたが、住宅ローン等は順調に推移し残高は同 1.2%増加し 3,292 億円となりました。

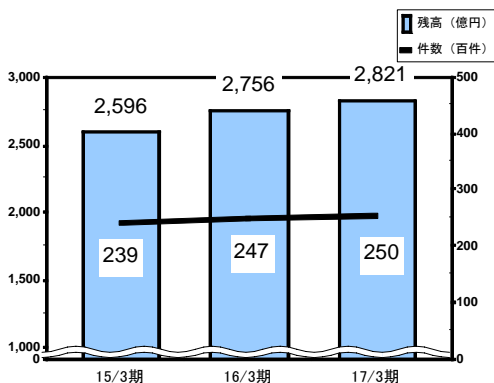
※個人事業主向けの個人ローンを含みます。

② 総貸出金残高に占める個人ローン残高シェア



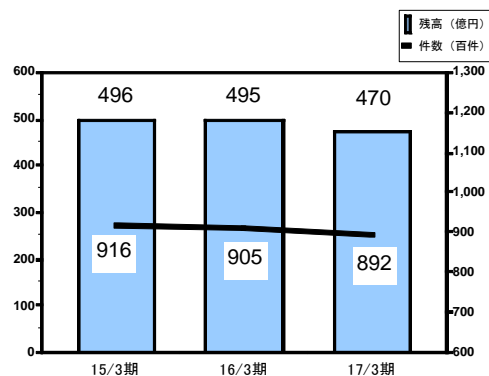
平成 17 年 3 月期の貸出金全体に占める個人ローン残高シェアは前期比 1.2 ポイント増加し 24.2%となりました。

③ うち住宅関連融資残高、件数



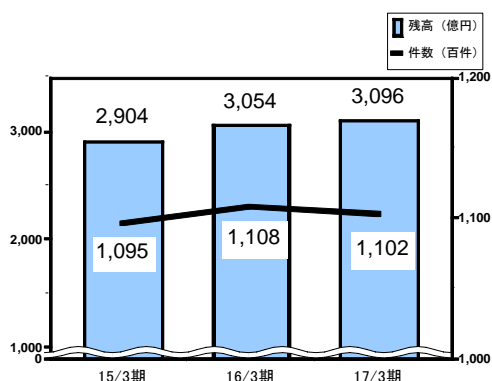
住宅ローン新商品の投入および特別優遇金利適用期間を延長する等積極的に取組みした結果、平成 17 年 3 月期の残高は前期比 2.3%増加し 2,821 億円、件数は同 1.5%増加し 250 百件となりました。

④ うち消費者ローン残高、件数 (カードローンを含む)



マイカーローンやカードローン等が堅調に推移したものの既往貸出分の返済もあり、平成 17 年 3 月期の残高は前期比 5.0%減少し 470 億円、件数は同 1.4%減少し 892 百件となりました。

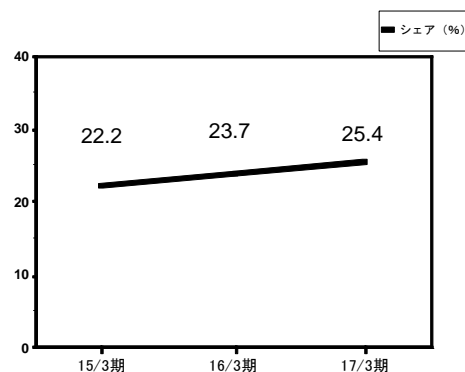
⑤ 県内の個人ローン残高、件数



平成 17 年 3 月期の県内向けの個人ローンは、件数は前期比 0.5%減少し 1,102 百件となりましたが、残高は同 1.3%増加し 3,096 億円となりました。

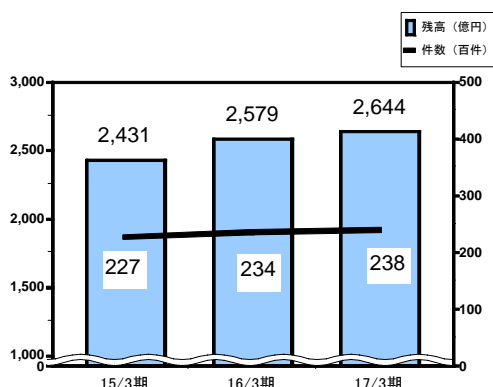
また、平成 17 年 3 月期の県内向け個人ローン残高は、個人ローン全体の 94.0%を占めています。

⑥ 県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高シェア



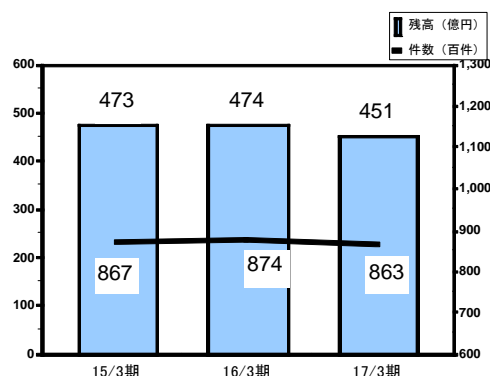
平成 17 年 3 月期の県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高シェアは前期比 1.7 ポイント増加し 25.4%となりました。

⑦ うち住宅関連融資残高、件数



平成 17 年 3 月期の残高は前期比 2.5%増加し 2,644 億円、件数は同 1.5%増加し 238 百件となりました。

⑧ うち消費者ローン残高、件数 (カードローンを含む)



平成 17 年 3 月期の残高は前期比 4.8%減少し 451 億円、件数は同 1.1%減少し 863 百件となりました。

⑨ 個人向けローン商品の提供内容

各種消費資金ローンとしてマイカーローンやカードローン等をご用意し、マイカー購入や旅行・買い物など目的に合わせた資金計画のお手伝いをしています。また、「夢のマイホーム」等を実現するため各種住宅ローンをご用意しています。

代表的な消費者ローン・カードローン ～ マイカーローン、教育ローン、パーソナルローン、A キャッシング

住宅ローン ～ スーパー住宅ローン、住実パワー、リフォーム大臣

2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

(1) 顧客接点の状況

店舗等チャネルの状況

当行は、これまで地域のお客さまの利便性を第一に考えた店舗展開を推進し、現在青森県内では最大の店舗ネットワーク網を有しています。

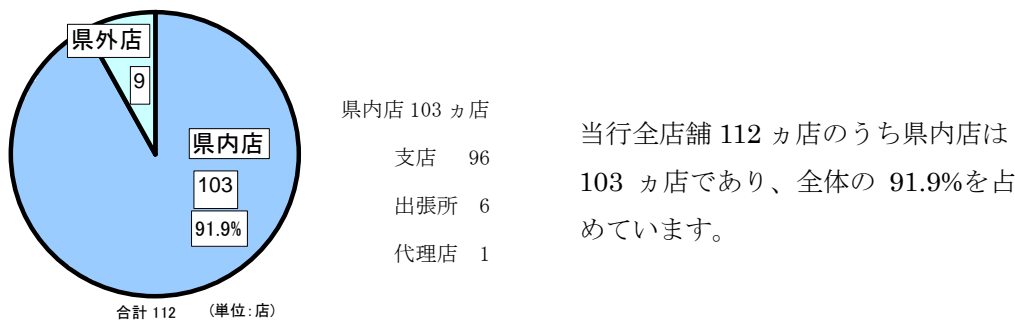
また、ATM（現金自動預払機）の設置についても、店舗ネットワーク網を補完するという観点から、積極的な展開を進めるとともに、平成14年1月よりATMの365日稼働も実施しています。

さらに、全国に先駆けた他業態金融機関とのATM相互利用無料提携「あすなるネット」のほか、隣接県のトップバンクである秋田銀行・岩手銀行とのATM相互利用無料提携「AAIネット」も実施しています。

加えて、コンビニATM「イーネット」との提携や、全国郵貯との提携のほか、各クレジット会社等へのATM開放等ネットワーク網の拡大と利便性の向上に積極的に努めています。

〈 店舗の状況 〉

① 店舗数、シェア（17/3 末現在）



② 店舗設置市町村数（17年4月1日現在）

市 … 県内 8 市に設置。全 80 カ店設置。（うち代理店 1 カ店）

町 … 県内 27 町のうち 21 町に 22 カ店設置。

村 … 県内 11 村のうち 1 村に 1 カ店設置。

県外… 全 9 カ店。

東京都／中央区 1 カ店

北海道／函館市 3 カ店、札幌市 1 カ店

秋田県／大館市 1 カ店、能代市 1 カ店

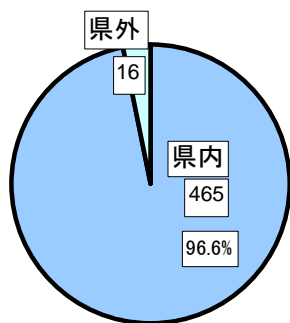
岩手県／盛岡市 1 カ店

宮城県／仙台市 1 カ店

〈 ATMの状況 〉

① ATM設置数、シェア(17年4月6日現在)

	県内 ATM 設置数		県外 ATM 設置数		総 ATM 設置数	
	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数
店舗内	106	220	9	14	115	234
店舗外	199	215	0	0	199	215
小計	305	435	9	14	314	449
他金融機関幹事共同 ATM	30	30	1	2	31	32
合計	335	465	10	16	345	481



合計 481 (単位:台)

平成 17 年 4 月 6 日現在の ATM 設置数 481 台(他金融機関幹事共同 ATM を含みます)のうち、県内に設置している ATM 数は 465 台(同)であり、全体の 96.6%を占めています。

②コンビニATM「E-net(イーネット)」(17/3末現在)

県内のサークルK、サンクス、ミニストップ、ディリーヤマザキ 合計 57カ所に設置しています。

営業時間は平日 7時から 23時、土日祝日 7時から 21時となっています。

県外のイーネットATMでも当行ATMと同様の手数料にてご利用いただけます。

(全国 5,243台 17年3月17日現在)

③休日の対応状況

ATM(店舗内、店舗外、コンビニ)は休日に関わらず1年365日営業しています。

ATM利用時の障害問い合わせ、照会等については、コールセンター(ATM集中監視業務)にて対応しています。

④ATM提携の状況(17/3末現在、郵貯提携は16/3末現在)

提携名称	県内設置状況	内 容
あすなろネット	379カ所	県内全信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫、JAバンク青森の4業態8金融機関とのATM相互利用手数料無料提携(支払・残高照会)
AAIネット アイ	11カ所	秋田銀行、岩手銀行とのATM相互利用手数料無料提携 秋田銀行3カ所、岩手銀行8カ所(支払・残高照会)
郵貯提携(県内)	319台(16/3末現在)	(入金・支払・残高照会・相互送金)
クレジットカード会社 等とのATM提携	23先	銀行系6、信販系8、流通系5、消費者金融系4

〈 バリアフリーへの取組み 〉

店舗入口スロープ設置店舗(段差解消)	71カ店	車いす利用可能トイレ設置店舗	12カ店
車いす利用可能ATM設置店舗	1カ店	車いす利用可能店舗外ATM	10カ所

〈 ダイレクトチャネルの展開 〉

■ 個人のお客さま向け

「忙しくて銀行に行けない」というお客さまのために「<あおぎん>つないでネ！ット」をご用意しております。

この「<あおぎん>つないでネ！ット」では、お客さまのご都合に合わせてテレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキングで、「口座残高や入出金明細の照会」ならびに「お振込」「お振替」等の様々なサービスがご利用いただけます。

また、対象サービスをご利用いただくことで翌月の月額基本手数料が無料となる「ご利用キャンペーン」（キャンペーン対象サービスは一覧表の(得)表示のあるものとなります。実施期間は平成18年3月まで延長しました。）の実施や振込手数料が窓口でのお取扱よりも安価であることなど大変お得です。

インターネットバンキングでのネット上の情報漏洩・データの改ざんを防ぐため「SSL128ビット方式による暗号化」を施すなど、安心してご利用いただけます。

インターネットバンキング	●	●	●	●	—	●	—	—	—	●	—	—	●
モバイルバンキング	●	●	●	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—
テレホンバンキング	●	●	●	—	●	—	●	●	●	—	●	●	●
ご利用いただけるサービス	口座照会	振込	振替	振込・振替予約	定期預金（お預入・お引出）	定期預金（お預入）	外国送金	外貨預金	現金宅配・現金送金	税金・各種料金払込み（ペイジー）	公共料金自動振替の受付	住所変更の受付	各種商品・サービスのご相談
	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)	(得)		

■ 法人・個人事業主のお客さま向け

「銀行に行く時間を他の仕事にまわしたい」「もっと効率的に仕事をしたい」というお客さまのために、各種EBサービスをご用意しております。

サービスについての充実も積極的に進めており、最近では次のサービスの取扱いを開始しました。

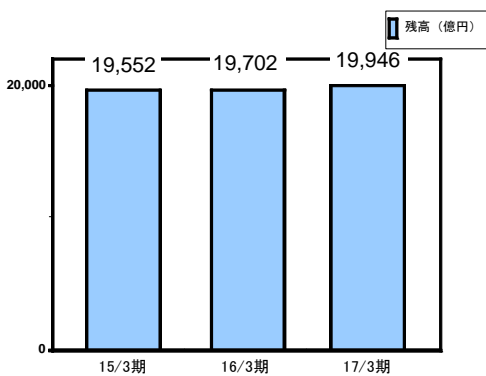
- ・平成16年1月「法人向けインターネットバンキング<あおぎん>AB-webにおいて、「データ伝送での総合振込・給与振込」の取扱いを開始しました。
- ・平成16年1月「法人向けインターネットバンキング<あおぎん>AB-webにおいて、「税金・各種料金払込み（ペイジー）」の取扱いを開始しました。

また、各サービスでは暗証番号での本人確認実施など、セキュリティについても安心してご利用いただけるようになっております。さらに、振込手数料が窓口でのお取扱よりも安価となっており、大変お得なサービスです。

ANSERサービス & データ伝送サービス	お手持ちのパソコンから、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
AB-web (法人向けインターネットバンキング)	インターネットを経由して、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
FAX取引受付サービス	お手持ちのFAXから、総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
あおもり ワイドネットサービス	売掛金等の代金回収業務を、貴社に代わって「あおぎんコンピュータサービス(株)」（当行関連会社）が行います。
コンビニ収納サービス	各種売上代金等を、全国の提携コンビニを通じて回収できます。

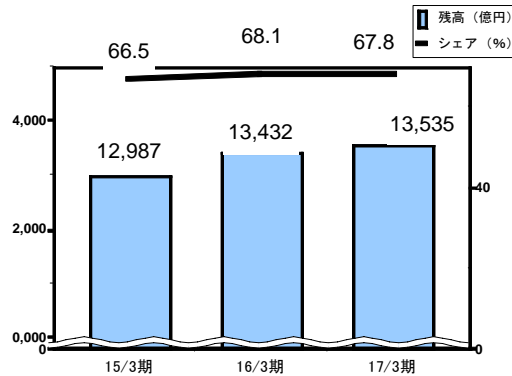
(2) 預金業務等の状況

① 総預金残高



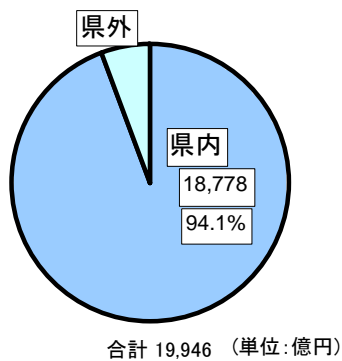
平成 17 年 3 月期の総預金（譲渡性預金を含む）は、法人・個人預金等の増加により、前期比 1.2%増加し 1 兆 9,946 億円となりました。

② 個人預金残高、シェア



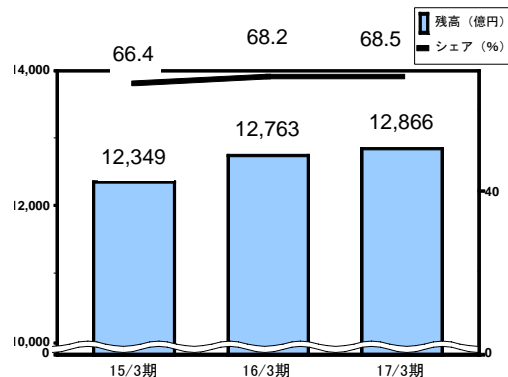
平成 17 年 3 月期の個人預金残高は前期比 0.7%増加し 1 兆 3,535 億円となりました。また、預金全体に占める個人預金シェアは前期比 0.3 ポイント低下し 67.8%となりました。

③ 県内の預金残高シェア(17/3期)



地元青森県内の預金は 1 兆 8,778 億円であり、預金全体の 94.1%を占めています。

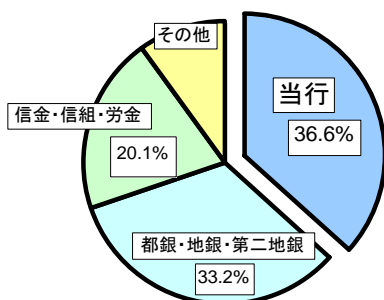
④ 県内の個人預金残高、シェア



平成 17 年 3 月期の県内の個人預金残高は前期比 0.8%増加し 1 兆 2,866 億円となりました。また、県内預金全体に占める県内の個人預金シェアは前期比 0.3 ポイント増加し 68.5%となりました。

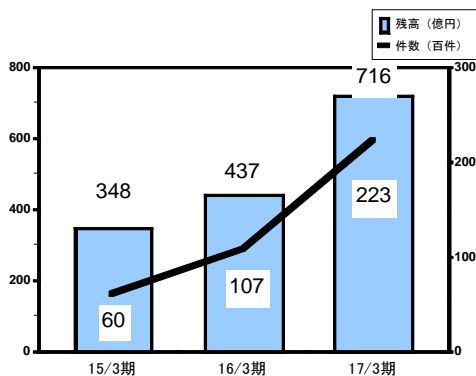
⑤ 県内金融機関別預金残高シェア(17/3期)

(郵便局を除く)



県内における当行預金シェアは 36.6%とトップです。

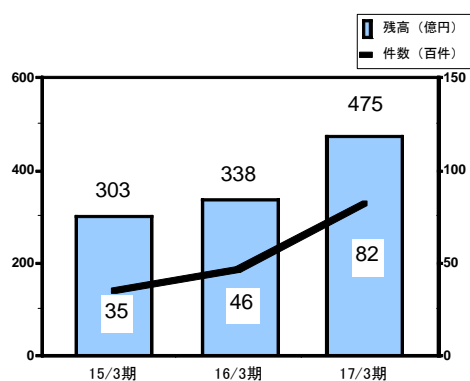
⑥ 預り資産残高、件数



資産運用の多様化に伴い、国債や投資信託などの預り資産残高は大幅に増加しています。

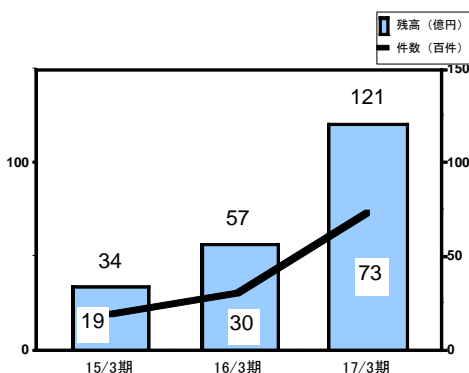
平成 17 年 3 月期の預り資産残高は前期比 63.6%増加し 716 億円、件数は同 109.0%増加し 223 百件となりました。

⑦ うち公共債



平成 17 年 3 月期の公共債は、12 月および 3 月に募集した「個人向け国債」を中心に増加しました。残高は前期比 40.5%増加し 475 億円、件数は同 75.9%増加し 82 百件となりました。

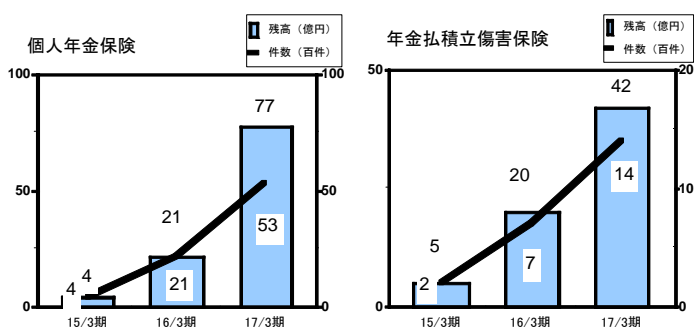
⑧ うち投資信託



投資信託は、元本変動商品ですが、超低金利の預金に比べ利回りが大幅に上回っているファンドを中心に増加基調にあります。

平成 17 年 3 月期の残高は前期比 109.8%増加し 121 億円、件数は同 141.0%増加し 73 百件となりました。

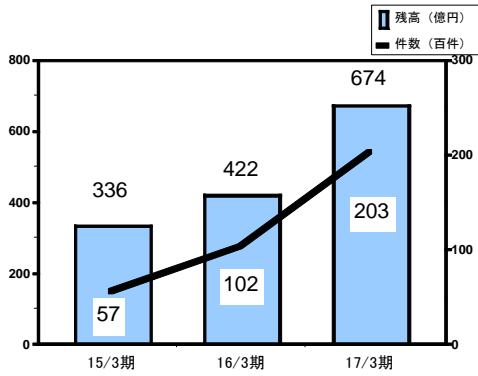
⑨ うち個人年金・年金払積立傷害保険



取扱いを開始して以来、順調に推移しています。平成 17 年 3 月期の個人年金保険残高は前期比 266.3%増加し 77 億円となり、年金払積立傷害保険残高は同 109.0%増加し 42 億円となりました。

※残高については、初回保険料のみ計上しています。

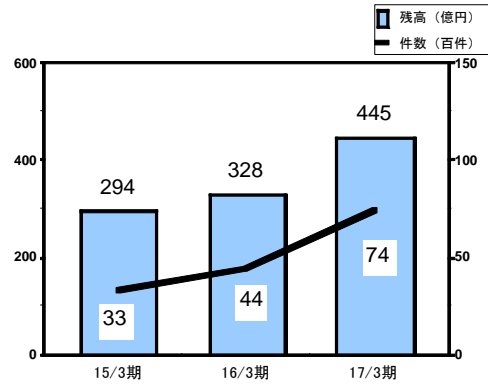
⑩県内の預り資産残高、件数



平成 17 年 3 月期の預り資産のうち県内分の残高は前期比 59.6%増加し 674 億円、件数は同 99.3%増加し 203 百件となりました。

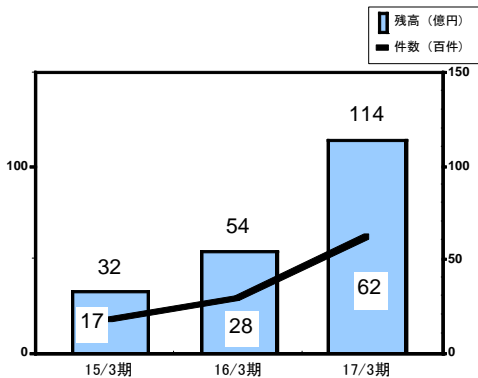
また、県内の預り資産は、預り資産全体の 94.1%を占めています。

⑪うち公共債



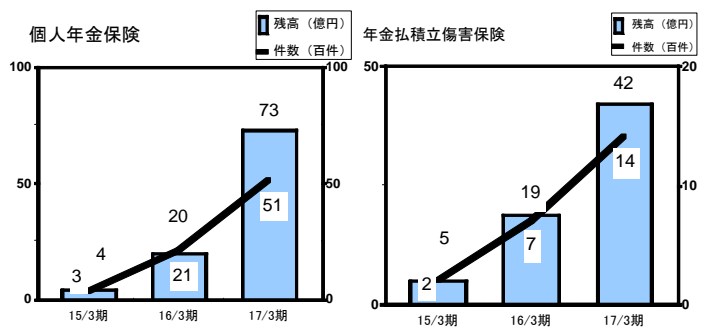
平成 17 年 3 月期の公共債のうち県内分の残高は前期比 35.5%増加し 445 億円、件数は同 67.8%増加し 74 百件となりました。

⑫うち投資信託



平成 17 年 3 月期の投資信託のうち県内分の残高は前期比 110.2%増加し 114 億円、件数は同 120.0%増加し 62 百件となりました。

⑬うち個人年金・年金払積立傷害保険



取扱いを開始して以来、順調に推移しています。平成 17 年 3 月期の個人年金保険残高は前期比 264.5%増加し 73 億円となり、年金払積立傷害保険残高は同 112.6%増加し 42 億円となりました。

※残高については、初回保険料のみ計上しています。

⑭地域顧客への利便性提供に資する取組みの状況

当行では、お客さまお一人おひとりのご要望やライフスタイルに合わせた資産計画にお応えするため、魅力ある商品・サービスを各種ご用意しています。皆さまの毎日の暮らしや将来計画の実現をお手伝いするパートナーとしてお役に立ちたいと考えています。

〈 預金商品 〉 代表的な預金商品

◎自由金利型定期預金(M型)〈スーパー定期〉

最もお客さまに親しまれている預金商品。預入期間も1ヵ月～10年と幅広く設けています。金利は市場実勢に応じて決定されます。

◎〈あおぎん〉資産運用パック「みのり計画」

「円貨定期預金」に「投資信託」「外貨預金」を組み合わせることで、円貨定期預金の金利がおトクな特別金利となる資産運用商品です。

〈 各種金融商品 〉

◎公共債

国が発行する国債をはじめとする公共債を販売しています。国債は新発債と既発債のほか、個人向け国債も取扱いしています。

◎投資信託

低金利下において積極的な資産運用をお考えのお客さまに向けて、各種ファンドをご用意しています。

◎保険

- ・将来のゆとりある老後資金の準備や中長期的な運用商品として、「個人年金保険」「年金払積立傷害保険」を各種ご用意しています。
- ・当行で住宅ローンをご利用のお客さまを対象に、さまざまな損害から住まいを守るワイド補償タイプの火災保険をご用意しています。住宅ローンと同時に契約でき、割引保険料が適用されますので便利かつ有利です。
- ・海外旅行時の不慮の事故等に備えるための傷害保険です。インターネットでのお申込みとなります。

◎金

金地金を保護預かりする預かり証方式と直接受渡しする現物販売方式があります。

〈 証券仲介業務の開始 〉

総合的な金融サービスの提供や金融商品のワンストップショッピングなど、お客さまの利便性向上を目指し、平成17年3月から証券仲介業務を開始しました。

業務開始当初の段階では、提携する大和証券(株)および野村証券(株)の証券口座開設の取次ぎ業務を行い、取扱いは本店営業部、弘前支店、八戸支店の3店舗で行います。

〈 年金相談会、投資信託セミナー等の開催 〉

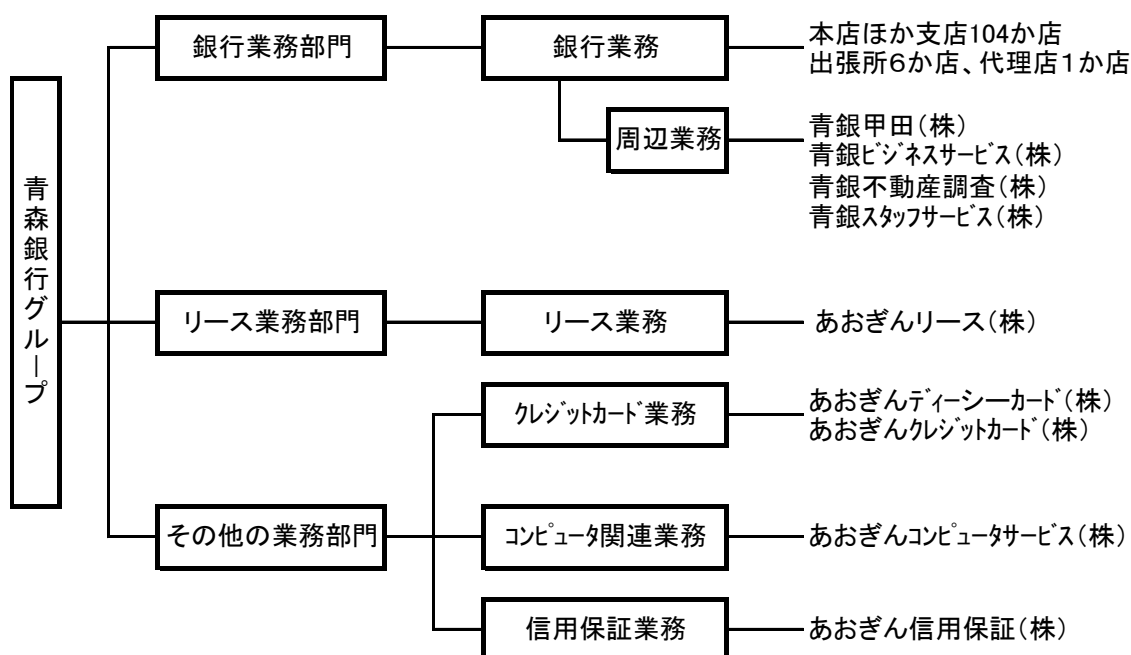
年金相談会を本店では随時、他の7市では月1回各市の母店において開催しています。

また、支店単位で適宜お客さま向けの投資信託の活用法についてセミナーを開催しています。

(3)その他

①子会社等を通じた利便性提供の状況

青森銀行グループは、当行および子会社・連結子会社9社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの事業を行い、幅広い金融サービスを提供しています。



3. 地域経済活性化への取組み状況

(1)地元企業に対する経営サポートの状況

①地元企業の経営相談等への取組み状況

◎「ビジネス商談会」で地域経済の活性化を推進

当行、秋田銀行、岩手銀行では、第3回目の北東北三行共同によるビジネス商談会を本年10月21日に、秋田市で開催します。

本商談会は、北東北三行の事業意欲旺盛なお客さまに交流機会を提供し、ビジネスチャンスの創出をバックアップすることにより、企業および地域の活性化を推進することを目的とするものです。地方銀行が手を結び、県境を越えた広域の商談会は全国的にも珍しく、昨年青森市で開催した第2回商談会には136企業11団体が出展しました。当日は、約5,000人が来場したほか418件の商談が行われました。平成17年3月末現在の商談成約件数は106件と地域経済の活性化に一役かっています。

※北東北三行共同ビジネスネット（Netbix）は、北東北のリーディングバンク三行がお客さまのビジネスニーズを共有し、ビジネスマッチングの機会創出等、法人のお客さまへのサービス向上を図るため、平成15年4月に設立されました。

◎インターネットによる経営情報の提供

各種経営情報の提供に関しては、インターネットを利用した会員制（会費無料）の「青森銀行情報提供サービスA I N E S（アイネス）」をご利用ください。

◎(財)青森地域社会研究所の活動

(財)青森地域社会研究所は、昭和53年7月に設立された地域型シンクタンクです。同研究所は、県内地域社会に関する経済、社会、文化、歴史等全般的分野についての調査研究や地域産業育成のための助成事業等を行っています。

また、調査研究結果を刊行物として定期的に発行するなど、地域経済社会の発展に貢献しています。

◎青森銀行研修所の活動

当行研修所では、平成5年の当行創立50周年を機に、県内の全事業所、従業員を対象とした研修制度をスタートさせました。人材育成研修の企画・実施、セミナーの開催、研修講師派遣等の活動を行っています。

②地元企業の再生への取組み状況

◎「企業支援室」による経営改善支援等

当行の企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」のとおり、地域の発展なくして当行の発展はないとの考えから、経営改善を必要とするお取引先に対しては経営改善に向けた支援・相談に積極的に取り組んでいます。

従来より、地域企業の経営改善支援専担部署として審査部審査課内に企業支援チームを設置し、企業支援活動に取り組んできましたが、平成15年4月、審査部内に「企業支援室」を独立設置しました。取組体制を整備し、現在専担者6名で対応しています。

具体的には、企業経営者との面談を実施し、問題点・課題を共有するとともに経営改善計画の策定に深く関わりながら、経営者と一体となって経営改善に取り組んでいます。さらに、公認会計士・専門コンサルタント等と連携しながら、適時、適切なアドバイスを行うなどの取組みを実施しています。

また、特に経営不振な企業の再生として、中小企業再生支援協議会や企業再生ファンド等を活用しながら取り組んでいます。

併せて、経営改善の側面からの支援事業として、お取引先の経営者を対象に、経営改善をテーマとした講演会を開催しているほか、政府系金融機関や行政機関等との連携を図りながら、支援メニューの充実を図っています。

◎北東北3行による広域企業再生スキームの創設

当行、秋田銀行および岩手銀行は、北東北3県を中心として中小企業再生に向けた支援を強化するため、広域の企業再生スキーム「北東北がんばるファンド」を創設しました。

創設の目的は、経営不振事業者や事業の再構築を必要としている北東北3県を中心とした企業に対して、再生支援を行うことにより「地域経済の活性化」につなげるものであり、平成16年10月から取扱いを開始しました。

◎政府系金融機関と業務協力提携

当行は、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫、中小企業金融公庫、農林漁業金融公庫の各政府系金融機関と相互の連携をより一層強化するため、業務協力に関する覚書を締結しました。

業務協力により、当行と政府系金融機関双方の業務特性を活かして、地域への円滑な資金供給を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

(2)企業の育成への取組み

①企業育成への取組み状況

創業・新規企業の当行に対するニーズは、資金供給者としての役割と、事業計画作成のためのアドバイス等事業展開に資する情報の提供者としての役割であると考えています。

当行では、研修制度の充実による人材育成、当行グループ企業を活用したベンチャー企業への投資制度や助成金制度「エンジェル」等を設けています。

※あおぎん地域産業助成金「エンジェル」について

県内の法人・個人の方々を対象に、地域産業の育成と企業の発展を願って、新技術・新製品及び新サービスの研究開発に必要な資金の2分の1以下（限度 300 万円）を助成する制度であり、これまで10企業1個人の11先に対して助成しています。

(3)地方公共団体の事業との関係

①地方公共団体事業との関係

青森県内には、青森県を含め48の地方公共団体（平成17年4月1日現在）があり、当行ではこのうち青森県をはじめ、県内全市（9市）と26町村のあわせて36の地方公共団体から指定金融機関の指定を受け、地域の中核金融機関として、公金業務を取扱いしています。

現在、県内各地域で市町村合併がすすめられています。当行では、平成16年7月1日県内で最初の市町村合併となった五戸町を初めとし、新しく誕生した13市町村のうち11市町村より指定金融機関の指定を受けています。

また、地域社会のよりよい環境づくりのため、地方公共団体、公社などへのご融資、地方債の引き受けを通じて学校、病院など公共施設の整備に協力しています。

さらに、当行の関連シンクタンクである（財）青森地域社会研究所では、地方公共団体の各種調査、研究事業等を受託しています。

◎県内市町村合併状況(平成17年4月1日現在)

合併により誕生した市町村数	6市7町
(合併構成市町村数)	(5市14町14村)

◎法定合併協議会設置数(平成17年4月1日現在) 5協議会

◎当行の指定金融機関シェア(平成17年4月1日現在)

		全体	当行 (シェア)
合併前 (H16.6.30)	指定金指定先数	68(1 県 8 市 34 町 25 村)	46(1 県 8 市 27 町 10 村) (67.6%)
	人口(注 1)	1,475,728 人	1,336,957 人 (90.6%)
	財政規模(注 2)	648,663M	556,194M (85.7%)
合併後 (H17.4.1)	指定金指定先数	48(1 県 9 市 27 町 11 村)	36(1 県 9 市 20 町 6 村) (75.0%)
	人口(注 1)	1,475,728 人	1,369,677 人 (92.8%)
	財政規模(注 2)	648,663M	581,373M (89.6%)

(注 1) 人 口 : 国勢調査(H12. 10. 1 現在)

(注 2) 財政規模 : 平成 14 年度市町村「歳入」決算額

4. その他

(1)地域への各種支援活動の状況

①ボランティア活動等の状況

◎「あおぎん賞」の贈呈

平成 5 年、当行創立 5 0 周年を記念し、「青森県内の産業・地域開発および学術・文化・スポーツ等の振興に貢献した個人・団体等を表彰し、青森県の発展に資する」ことを目的に「あおぎん賞」を創設しました。これまでの受賞者数は、3 0 団体 6 個人の 3 6 先となっています。

◎「小さな親切」運動による活動

当行では、「小さな親切」運動青森県本部の事務局となり、毎年「春のクリーン大作戦」を実施しています。当行役職員はじめ、県内各地の住民の方々も多数参加いただいています。

◎地域行事への参加、ロビー展の開催

四季を通じて開催されるお祭りや催し物、スポーツ大会等には人とのふれあいが溢れています。当行では、地域の皆さまとのふれあいを大切にしたいと考え積極的に参加しています。

また、本支店のロビーを地域の皆さまの文化活動や作品発表の場としてご活用いただいています。